

リン [Rin]

氏名：リン（漢字で竜くと「倫」）

職業：勇者（女性騎士）

年 齡：18 歲

誕生日：4月20日（あひつじ座）

身 高：158cm

血液型：A型

胸：Bカップ

チャームポイント：首

顔立ち：顔立ち：実はなかなかの美少女。

だが、自分の容姿に気を遣う余裕はゼロ。 一ノ瀬

サリア日く

『ポテンシャルの30%しか發揮できない』。

体型：やせっぽちなに

触るとふわふわ柔らかく、

内面：一つ一つの動作が丁寧で優しい。

そして、いかにも頬りない雰囲気のくせに

『もしかしたら、この人なら

何か面白い事をやってくれるかも!』

と思わせるという、様々な面において

アンビバレントな魅力を持つ。つまり、

特定の層にだけ異常に突き刺さり、

はまつた者は抜け出せなくなるタイ

A decorative horizontal line consisting of a series of red diamond shapes of varying sizes, arranged in a repeating pattern.

— 1 —

ヒロインの呼称



好きなもの：人の役に立つ事、星を見る事、食べる事、寝る事、あとそれから……（三大欲求的な意味で察してください）

ただの一般人なのに、なぜか勇者に選ばれてしまった女の子。

貧しい村の大家族出身で、これといったとりえもなく、家族の中でも足手まとい扱いをされて育つ。

しかしある日、突然神様に選ばれ、村を出て旅に出る事になった。

生真面目で心優しく、正義感が強い性格。

勇者としては弱すぎるくせに意思だけはやたら強く、根気強く一歩一歩近づいて目標を達成するタイプ。

しかし、戦いに適しているとは全く言えず、さらに存在感が薄い。

勇者と呼ばれるようになってからも

『びっくりするほどオーラがない』『どこにいるのか本当にわからなかった』と言われ続けている。

結果、自己肯定感が非常に薄く、その分人の役に立ちたいという気持ちが強い。

しかし、これをこじらせた結果『人の役に立っていない自分には価値がない』と思うようになってしまっている。

本当は、戦う事も痛い事も辛い事も大嫌い。

だからやりたくないし、今すぐ逃げ出したいけれど、自分の行いが誰かの役に立つと信じて戦い続けている。それに、今更村に戻ったところで居場所はないし……。

心の支えは、唯一の旅の仲間の『妖精さん』。

三か月前、突然現れた『妖精さん』に危機を救ってもらい、その時からずっと彼女に憧れている。

以来、時々急に現れてはサポートしてくれる『妖精さん』と会うのをいつも心待ちにしていた。

そんなある日『妖精さん』と、もし自分が立派な勇者になれたら、『妖精さん』を操作している人、つまり『中の人』と会う約束をする。

それからは『頑張って戦い抜いて、妖精さんの正体を知る』事が最大のモチベーションになっていた。

だが冒険を始めて三か月ほどたった十八歳のある日、強力な魔物に襲われる。

同時に自分をかばって『妖精さん』が壊れてしまう。

そして失意のままサリアに拾われ、飼われる事になる。

周囲にはバカな子だと思われがちで、本人もこれを否定しない。
だが、実際は意外と冷靜で、頭が回る。

また、ルーチンワークが一切苦にならず、
淡々と、黙々と作業をこなせる集中力がある。

実は、三大欲求がどれも非常に強い。

貧乏舌で、何でもおいしそうにたくさん食べ、どんなところでも、
割とすぐにスヤスヤ眠れる。

だが、食欲と睡眠欲に比べ、性欲の強さは大っぴらにしづらいので、必死に隠している。
また、村にいた頃は家の仕事が、冒険を始めてからは戦いが大変すぎたので、恋愛経験もない。
結果『性的な事にものすごく興味のある処女』である。

実家ではあまり大切に扱われてこなかったので、
人一倍大事にされたい、甘えたいという欲求が強い。

特に『お姉ちゃん』というものには強い憧れがある。実姉は冷たかったし。

結果、サリアとは、サリアが想定していた

『えっちなご主人様と、いじめられる従者』というよりは『不慣れなりに頑張って甘え
させてくれる姉と、それをニコニコ享受する意外と聰い妹』のような関係になっていく。